

あけましておめでとうございます

今シーズンは、インフルエンザが流行り、アガペでも、インフルエンザのため、恒例のクリスマス行事が中止になって（規模縮小で食事会だけになりました）、残念ですが、普段と違うごちそうで、美味しかったです。

2025年は、10月に日帰り入院で親知らず抜歯（全身麻酔）などがあって、通院の多い年でしたが、担当職員がかわったり、外出も定期的に行けたりして、今年もいろいろあり、いい年でした。

僕は、長い時間、口を開けることができなく、全身麻酔でやりました。

2,026年もも病気せず、明るい年になるように、願うばかりですが、1月にいつも食事の時などに聞いているFM横浜のスタジオ見学ツアー

があり、今から楽しみにしています。

前も書いたように、早いもので、今年8月で53になり、人生の折り返しを迎え、改めて時間の早さを実感していて、むかしと違い、座位が取れにくくなり、椅子にかつて多くの人が使用していた股間ベルトやさらしで縛らないといけなく、ベッドでも固定しないといけなく、それに疲れやすくなってきた、やはり若くないため、無理せず、改めてマイペースで生活したいナー———と思います。

以前は、固定しなくても、大丈夫でしたが、年とともに障害も進んで、あちこち縛らないといけなく、やむを得ないかな———と思います。

というか、固定しないと、緊張が強く、安定せず、シートベルトだと、とれてしまい、転倒したことが多々あり、車いすに股間ベルトやさらしで縛らないといけなく、僕の場合、抑制帯は必要だナー———と思いつつ、とに



かく健康第一に考え、無理のない範囲でやりたいものです。

何しろ、むかしと違い、いろんなことができなくなりつつあり、しょうがないことだな——と思います。

しかしながら、つつい無理をしてしまい、いけないな——と思いますが、最近も寝ている日はなく、快適な日々を過ごしています。

それにしても、中学まで普通学校に行けて、和光大学にも行け、そして念願だった地域生活などもでき、恵まれているナ———と思います。

改めてここまで支えていただいた皆さんに感謝しながら、これからは、生活したいナ———と思います。

以前も書いたように、ケアホームに入った夜にヘルパーさんが来なくて、一晚車いすで過ごした時がつらく、1990年代後半は、制度が

整っていない中、よくやれたナー———と思います。

今年6月、アガペに入所し、10年が経過して、あっという間に過ぎていくナー———とっていて、若くないため、マイペースで生活したいナー———と思います。

アガペに入所し、出来なくなったこともありますが、新たな出会いなどが多々あり、快適な日々を過ごしています。

2026年もよろしくおねがいします。

鈴木弘毅